

MITSUBISHI お力添え おのれい いだき

三菱 自動風呂給湯 電気温水器 ダイヤホット

時間帯別電灯対応通電制御型/深夜電力通電制御型(8時間)

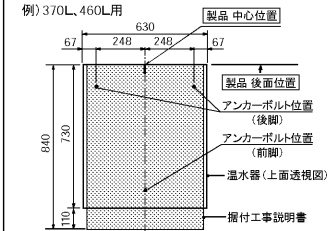
高圧型型 電気温水器

- | | | |
|---------------------------------|------------------------------|-----------|
| 形名 SRT-3767WFUD-BL (タンク容量:370L) | SRT-3767WFB-BL (タンク容量:370L) | 370,460L用 |
| SRT-4667WFUD-BL (タンク容量:460L) | SRT-4667WFB-BL (タンク容量:460L) | アンカーボルト位置 |
| SRT-4667WFUDM-BL (タンク容量:460L) | SRT-4667WFUM-BL (タンク容量:460L) | |
| SRT-5567WFUD-BL (タンク容量:550L) | SRT-5567WFB-BL (タンク容量:550L) | |
- M:マンション向けローボディタイプ

この温水器は、申請によって通電制御型として電気料金の割引が適用されます。適用にあたっては、最寄りの電力会社への申請が必要です。ご不明の場合は、必ず、最寄りの電力会社へご相談ください。(買い替え時などで機種変更した場合でも、電力会社へ申請が必要です。) お客さまへの説明には、同梱の説明書をご活用ください。

この据付工事説明書は再生紙を使用しました。

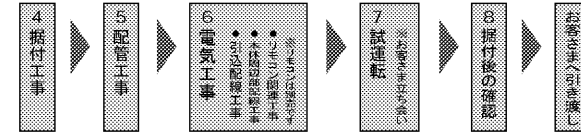
■この説明書の表面は、アンカーボルト位置の型紙として下図の様に使用できます。



■ 550L, 460L ローボディ用も、アンカーボルト位置(⊕)を使用して同様に行ってください。

- 370L, 460L用
- 550L, 460Lローボディ用

工事の流れ



安全のために必ずお守りください

■本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。



禁止



アース線接続



指示に従い行う

据付工事説明書 販売店・工事店さま用

この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前にこの「据付工事説明書」を必ずお読みください。この説明書に記載されていない方法や保証書と適合しない内容で工事された場合、また、指定の純正別売部品を使用せず工事された場合、事故や故障が生じたときには責任を負いかねます。

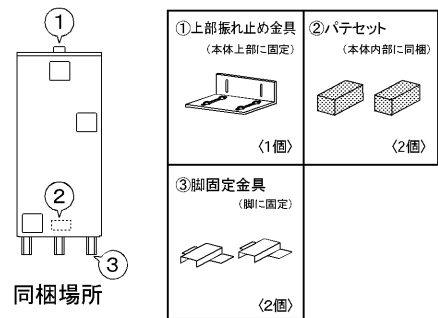
高圧型型 事業者さまが事務所、店舗などでご使用される場合は、労働安全衛生法の規程があり、特別な申請が必要です。必ず、販売会社担当部門にお問い合わせください。(同梱されている「事業者さまへのご案内」を必ずお読みください。)

1. 据付工事をされる方へ

- 工事後は、取扱説明書、工事確認書とともに、お使いになるお客さまにお渡し、保管していただくよう依頼してください。
- この製品はリモコン(別売)を接続しないと動作しません。必ずリモコンを接続して使用してください。
- 運搬するときは、前面カバーを上にして本体上部のとってと脚を持ってください。また、高層住宅などへのつり上げ運搬は、つり上げ台を使用してください。
- 製品の上面には上がらないでください。変形することがあります。
- メンテナンスのための十分なスペースを確保してください。
- 排水配管には必ず排水トラップを設置してください。排水トラップがないと下水ガスが逆流して温水器が著しく腐食し、故障します。
- 本体1台に対して接続できる浴槽は1つです。(使用する浴槽の大きさの目安は、220L~350Lです。)
- 降雨中は前面カバーを開けないでください。
- 本体と太陽熱温水器との接続はできません。
- 他の温水器との複数接続はできません。
- 本体と太陽熱温水器との接続はできません。
- 本体内部減圧弁からの2次給水はできません。

2. 同梱付属品

次の部品が付属されています。



同梱場所

3. 純正別売部品

必要な部品

種類	品名	規格	数量
(選択)	デラックスリモコン(台所リモコン/浴室リモコン)	RMC-7WKD+RMC-7WBD	1
	スタンダードリモコン(台所リモコン/浴室リモコン)	RMC-7WK+RMC-7WB	
2	浴槽アダプター(直管おねじ)	GT-A76	1
3	浴槽アダプター(直角おねじ)	GT-A79	
(選択)	リモコンケーブル(2芯 20m、線径 0.3mmφ)	LM-620	1*
	リモコンケーブル(2芯 50m、線径 0.3mmφ)	LM-650	
4	絶縁パイプ(20A 1m) 給湯用	GT-60B	1
	絶縁パイプ(20A 0.5m) 給水用	GT-61B	
	絶縁パイプ(15A 0.5m) ふろ用	GT-62B	
5	アース棒	GT-30B	1

*リモコンケーブルは、台所リモコン、浴室リモコン各1本ずつ必要です。設置状況に合わせて選んでください。

条件により準備する部品

No.	品名	形名	数量
6	正面設置用 脚部カバー(370L, 460L用)	GT-D460A	1
	正面設置用 脚部カバー(550L, ローボディ用)	GT-D550A	
	横向き設置用 脚部カバー(370L, 460L用)	GT-D460B	
	横向き設置用 脚部カバー(550L, ローボディ用)	GT-D550B	
7	空気抜き弁	GT-20B	1

仕様確認のうえ現地調達可能な部品

No.	品名	形名	数量
8	アンカーボルトM12(30本入)	GZ-B1	1
9	アンカーボルトM10(50本入)	GZ-B2	1

注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

凍結防止対策を行う
凍結すると、本体が破損したり、配管が破裂してやけどをすることがあります。

2階以上に据付ける場合は、上部振止め金具で本体を固定する
固定しないと地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。

雨や雪が降ったとき、水たまりができて水につかるようなところには据付けない
感電することがあります。

床面の防水・排水処理工事をする
処理工事しないと、水漏れが起きたとき、大きな被害につながる可能性があります。

水道水を使用する
水漏れ、故障の原因になります。

定格を確認して使用する
発火・火災になることがあります。

脚をアンカーボルトで固定する
固定しないと地震のとき、本体が倒れてけがをすることがあります。

工事作業中は手袋を着用する
金属端面によるけがや高温部接触によるやけどの原因になります。

据付工事には、三菱純正別売部品を使用する
事故・故障の原因になります。

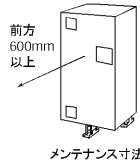
製品 後面位置

製品 中心位置

4.据付工事

据付場所の選定

- 温水器と建物のすき間寸法は各都市の火災予防条例に従ってください。
- 雨や雪が降ったとき、水たまりができて水につかるようなところには絶対に据付けしないでください。
- 積雪地区に据付ける場合には、雪を防ぐために小屋げをしてください。
- 浴室など湿気の多いところには据付けしないでください。
- 配管の放熱ロスを少なくするため、使用頻度の多い台所近くが最適です。
- 室内(機械室など)に据付ける場合は通気口を設け、密閉室にしないでください。
- 保守、点検に必要なスペースを確保してください。また、本体が故障したときや交換時の搬入、搬出ができるように側面のスペースも考慮してください。



東京消防庁設置基準適合

この製品は「組込み形等電気機器の設置に関する自主基準」(平成6年11月18日改正社団法人日本電機工業会)設置基準適合品のため、建築物の可燃物等からの離隔距離は、上下、左右、前後方向とも0mm以上です。ただし、故障時や交換時などのメンテナンススペースを確保するため、右図に示す寸法を確保してください。

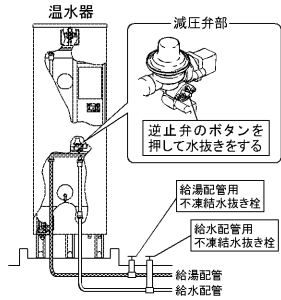
警告
 ガス類や引火物の近くには据付けない
 発火・火災になることがあります。

注意事項

■ 据付後、すぐに使用しない時は、温水器と配管内の水抜きをする

凍結が心配される地域に設置する時は、配管の水抜きができる工事を行い、すぐに使用しない時は、必ず、温水器と配管内の水抜きを行ってください。(設置後すぐに通電し、温水器のわき上げを行う場合は、必要に応じ以下の不凍結水抜き栓の取付工事を行ってください。)凍結した場合、温水器への通水ができなくなる場合があります。

— 施工例 —



【水抜き手順】

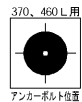
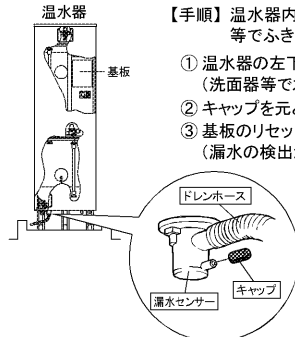
- ① 取扱説明書に記載の方法(「長期間使用しないとき」参照)で、温水器のタンクの水抜きをする
- ② 給水配管用と給湯配管用の不凍結水抜き栓で給水・給湯配管の水を抜く
- ③ 温水器の減圧弁にある逆止弁のボタンを押して減圧弁の中の水を抜く

■ 温水器に給水できない時(形名に「D」が付くタイプのみ対象です。)

温水器に給水できない(リモコンに「F08」表示)時は、温水器下部の漏水センサーから水を抜き、基板のリセットスイッチ(SW4)を5秒以上押し、リセットしてください。
 ※「F08」が表示された場合は、温水器本体内で水漏れが起こっている可能性があります。

【手順】 温水器内で水漏れをしていないか確認してください。水漏れがある場合は、必ず雑巾等でふきとってから、以下の手順を行ってください。

- ① 温水器の左下部分にある漏水センサーの黒いキャップを外して、内部にたまった水を抜く(洗面器等で水を受けて、床面にこぼさないようにしてください。)
- ② キャップを元どおり取り付ける
- ③ 基板のリセットスイッチ(SW4)を5秒以上押し(漏水の検出がリセットされ、リモコンの「F08」が消えます。)



■ 脚部カバーを取付ける時

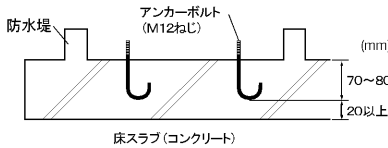
脚部カバーを取付ける場合、温水器本体を据付ける前に脚部カバーの支持板を本体に取付けてください。

床面工事

- 満水時の質量(外形寸法図参照)に十分耐える基礎工事をしてください。
 (370Lは寸法900×900mm以上、460L・ローボディは寸法1000×1000mm以上、550Lは寸法1050×1050mm以上)
- 屋内設置の場合は床面の防水、防水堤および排水処理工事を行ってください。

基礎工事

埋込みアンカーの場合(屋内の場合)

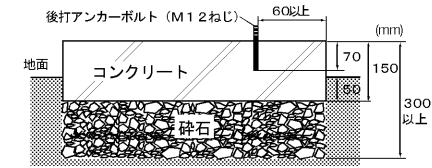


コンクリートの圧縮強度…18MPa(180kgf/cm²)以上
 アンカーボルト引き抜き力…9800N(1000kgf)以上

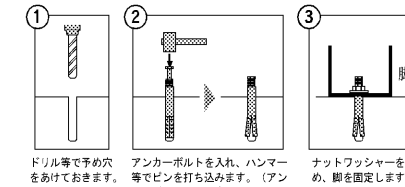
- 【お願い】**
- 買換え時、アンカーボルトの位置が異なっているときは、新たにアンカーボルトを打ってください。
 - 後打ちアンカーボルトの場合は下表のものをご使用ください。

アンカーボルト(脚固定用 形名:GZ-B1) 寸法(mm)				
直径	全長	ねじの長さ	下リル径	埋込み深さ
12	100	30	12.7	70

後打ちアンカーの場合(屋外の場合)

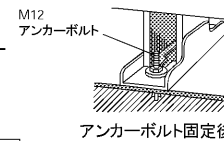


後打ちアンカーボルトの施工例



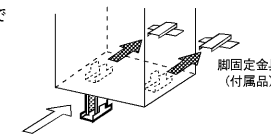
脚固定方法

- 脚は地震時の転倒防止のためアンカーボルトを使用して床面に固定します。3箇所必ず固定してください。



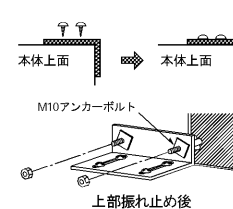
後脚がアンカーボルトで固定できない場合

- ① 付属の脚固定金具をM12アンカーボルトで右図の位置に固定します。
- ② 本体を矢印の方向に移動させ、後脚を脚固定金具の爪にはめ込みます。
- ③ 前脚をアンカーボルトで固定します。



上部振れ止め工事

- ① 本体上面に取付けてある上部振れ止め金具を外し上向きに取付けます。
- ② 上部振れ止め金具を壁に固定します。



- 【お願い】**
- 引張荷重が4900N(500kgf)以上に耐える壁、または棧を設けてください。
 - アンカーボルトは引き抜き力が2450N(250kgf)以上になる施工をしてください。
 - 後打ちアンカーボルトの場合は右表のものをご使用ください。
 - 上部振れ止め金具を側面に取付ける場合、使用しないねじ穴は雨水が入らないように付属のシールでふさいでください。(シールは上部振れ止め金具に付いています。)

アンカーボルト(脚固定用 形名:GZ-B2) 寸法(mm)				
直径	全長	ねじの長さ	下リル径	埋込み深さ
10	60	25	10.5	35

注意

床面の防水・排水処理工事をする
 処理工事しないと水漏れが起きたとき、
 大きな被害につながる場合があります。

注意

脚をアンカーボルトで固定する
 固定しないと地震のとき、
 本体が倒れてけがをすることがあります。

注意

2階以上に据付ける場合は、上部振れ止め金具で
 本体を固定する
 固定しないと地震のとき、
 本体が倒れてけがをすることがあります。

5. 配管工事

※上水道に直結する場合は当該水道局の条例に基づき認定水道工事業者が、指定された配管材料を使って施工します。

※水は、必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用します。

※塩分、石灰分、その他の不純物が使用水に多く含まれていたり、酸性水質の地域での使用はさけてください。
※井戸水などは水質によって故障の原因となりますので、ご使用しないでください。

※水源水圧は、200kPa (2.0kgf/cm²) 以上が必要です。

※温水器回りの配管部品は、保守、点検がしやすいように取付けます。

※水栓は逆止弁付湯水混合栓を使用してください。使用する蛇口によっては、出流量が少ない場合があります。特に浴室ではやけど防止のためサーモスタット付湯水混合栓を使用してください。(サーモスタット付湯水混合栓を使用する場合、構造により出流量が極端に少ない場合があります。ご使用になるときは、最低必要圧力、シャワーヘッドなどの仕様を確認して選定してください。手元ストップシャワー、マッサージシャワー等のシャワーヘッドでは出流量が少なくなります。)

※逃し弁、減圧弁は当社純正部品を使用しています。交換する場合も、三菱純正部品をご使用ください。

※ドレンホースは必ず排水ホッパーに導いてください。万一の水漏れ被害を防ぎます。

※必ずふろ配管工事を行なってください。

※排水配管には必ず排水トラップを設置してください。排水トラップがないと下水ガスが逆流して温水器が著しく腐食し、故障します。

【お願い】

※配管材料をろう付けした場合は、ろう付け箇所のフラックスや温水器のケースに飛散したフラックスを濡れた布できれいに拭き取ってください。

※給湯配管は、管の膨張収縮がありますので、コンクリート壁やスラブを貫通するときはスリーブを使用し、埋設配管するときは管を固定しないでください。

※配管接合部のシール材は耐熱・耐食性のある材料を使用してください。

※配管材料はネジ切り・切断などの際、油やゴミが付着しますので加工後は必ず中性洗剤で洗浄してから配管してください。また、キズやバリが無いように面取りを行なってください。(通水後は各水栓、減圧弁などのストレーナーにゴミがたまっていないか点検してください。)

※シールテープを使用する場合は、ネジ部よりはみ出さないようにしてください。

※減圧弁1次側の水圧検査は、750kPa (7.5kgf/cm²) 以下で行なってください。

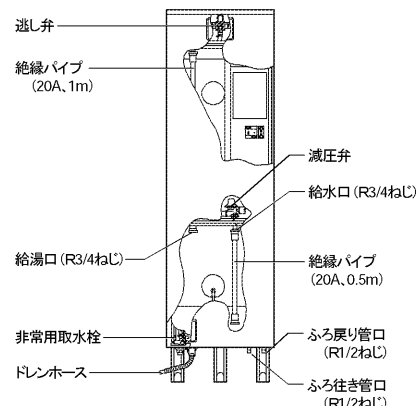
※耐熱塩ビ管 (HT管など) を接着接続した場合は、接着剤が減圧弁ストレーナー等へ付着しないよう硬化後に通水してください。使用する接着剤の種類、使用量、養生時間などは接着剤メーカーの説明書に従ってください。接着剤やフラックスが温水器のタンクに入り、湯から悪臭が発生した場合は以下の処置を行なってください。

- ① 一度タンク内の水をわき上げ後、排水してください。タンク内の洗浄を行ってください。(100L程度の水を2回くらい入れ替えてください。)
- ② 減圧弁のストレーナーの清掃または交換をしてください。
- ③ タンクを満水にしてください。
- ④ 逃し弁からも1〜2分程度排水してください。
- ⑤ 配管内を洗浄するために、各給湯栓から10分程度、水を流してください。

注意

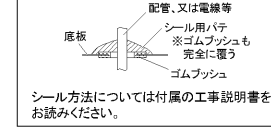
水道水を使用する水道水を使用しないと故障の原因になります。

本体内容配管工事



※温水器底面の各配管口について

- ① 各配管口のゴムフッシュは本体と配管の絶縁をします。外さないでください。
- ② 本体と配管のすきまは、同梱のパテでシールしてください。(万一、タンク等から漏水した時、大きな被害につながるおそれがあります。)

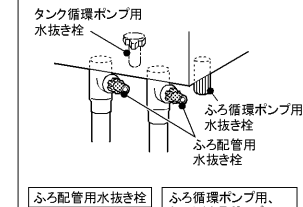


※ドレンホースについて

- ① ドレンホースは短く切断しないでください。
- ② ドレンホースに図のようなトラップを付けてください。

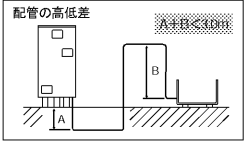
※水抜き栓について

配管工事終了後、水抜き栓が閉じているか確認してください。



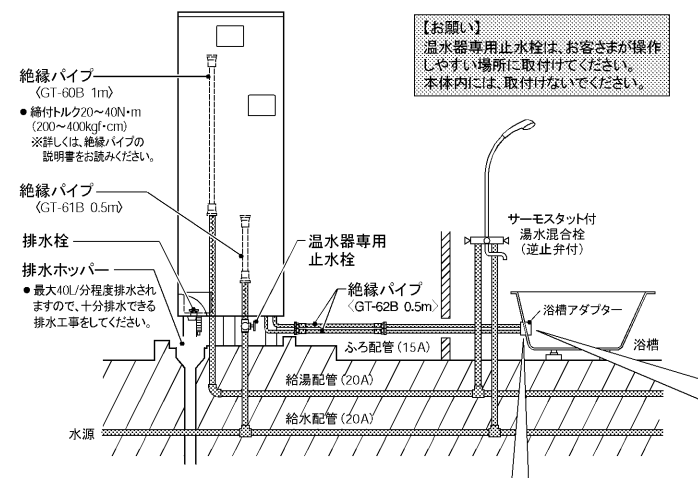
本体配管、ふろ配管工事

配管	使用する配管材	絶縁パイプ	施工上の注意事項
給水配管	耐熱・耐食性を有するもの (銅管など)	GT-61B (20A, 0.5m)	※タンクの掃除や点検など排水するときに必要な温水器専用止水栓※を取付けてください。 ※水漏れや故障のときなど水源を止めるために必要です。必ず温水器専用にしてください。また、お客さまが操作しやすい場所に取付けてください。本体内には、取付けしないでください。
給湯配管	耐熱・耐食性を有するもの (銅管など)	GT-60B (20A, 1m)	※給湯配管は、20A (3/4) の配管を使用します。 ※階下給湯は5m以内にしてください。詳しくは「階下給湯」の項を参照してください。
ふろ配管	耐熱・耐食性、絶縁を有するもの (銅管・耐熱樹脂管・HT管など)	GT-62B (15A, 0.5m)	※ふろ配管は、15A (1/2) の配管を使用します。途中で絶縁パイプ (GT-62B) を取付けてください。 ※φ12.7ヘアチューブの場合は、耐熱樹脂管を使用します。 ※ふろ行き配管と戻り配管で、曲げ回数や長さなどが同一条件となるように配管してください。(水圧に差が生じると動作不良の原因になります。) ※配管長さは片道15m10曲りまでです。(φ12.7ヘアチューブの場合は、浴槽設置1階の条件で6m5曲りまでです。) ※階下へのふろ配管はできません。 ※配管の高低差はトータル3.0m以内にしてください。鳥居配管は1カ所までです。(右図) ※フレキ管を使用する場合は、温水器側、ふろ側各1m以内にしてください。 ※浴槽アダプターは設置条件に合わせて、専用の純正別売部品を使用してください。
排水配管	耐熱性を有するもの (HT管など) 排水時に高温(最高時約90℃)のお湯が排水される場合があります。	—	※排水管は、内径50mm以上、配管勾配1/50以上にします。 ※わき上げ中に本体下部の排水口より少量の水が出ますので、必ず排水工事を行なってください。 ※最大40L/分程度排水されますので、十分排水できる排水工事をしてください。



標準配管例

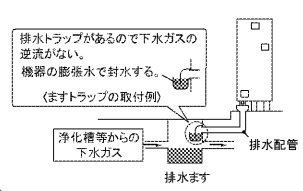
絶縁パイプ以降の給水配管・給湯配管及び、ふろ配管は現地準備してください。



【お願い】
温水器専用止水栓は、お客さまが操作しやすい場所に取付けてください。本体内には、取付けしないでください。

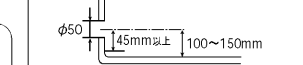
施工時の注意事項

- 温水器の排水配管には必ず排水トラップを設置してください。排水トラップがないと浄化槽などから下水ガスが逆流して、製品が著しく腐食し、故障します。



浴槽穴あけ工事

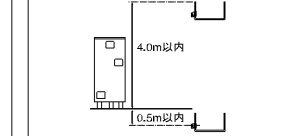
- ※浴槽穴は、底面から100〜150mmの位置に付けてください。
- ※浴槽穴径のセンターからRじまいまでの寸法は45mm以上です。



洋風浴槽のような浅い浴槽では、できるだけ低い位置に取付けてください。

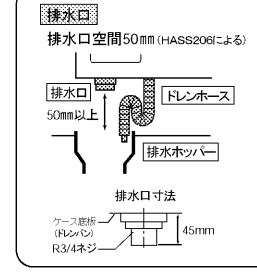
湯張り可能範囲

本体の設置面から
前方…4.0m以内 (浴槽ある線まで)
下方…0.5m以内 (浴槽アダプターの中心部まで)



4.0mを超える水位センサーの検知範囲内にあり、正常なる自動運転ができなくなります。

排水口付近拡大図



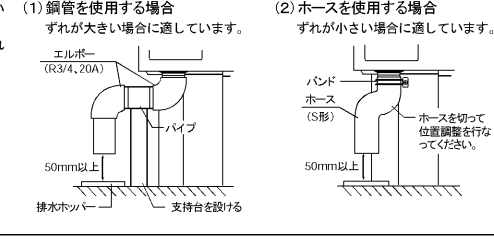
ドレンホース

ドレンホースは温水器底面より上にならないようにして排水ホッパーへ導いてください。また、ドレンホースが排水ホッパーから外れそうときは針金などで固定してください。

排水ホッパー

※口径φ90mm以上の排水ホッパーや排水トラップを使用します。
※ホッパーと排水口の中心位置を確実に合わせます。(中心位置がずれていると、排水時に水が飛び散って床面を濡らすことがあります。)

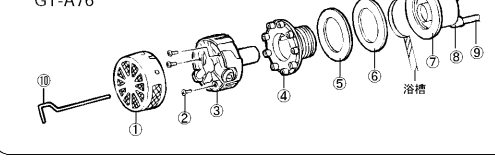
排水口と排水ホッパーの位置がずれている場合



浴槽アダプター取付け工事

- ※浴槽アダプターは、設置条件に合わせて専用別売部品 (GT-A76またはGT-A79) を使用してください。
- ※取付け方法については、浴槽アダプターの工事説明書をお読みください。
- ※浴槽内厚20mmまで取付け可能です。
- ※取付けには別売の専用締付工具 (当社製 GT-75K) を使用してしっかりと (15Nm程度) 締め付けてください。
- ※フィルターガイドの「上」印が上方になるように取付けてください。また、ふろ戻り口とふろ行き口は、4時と8時の位置になるように取付けてください。

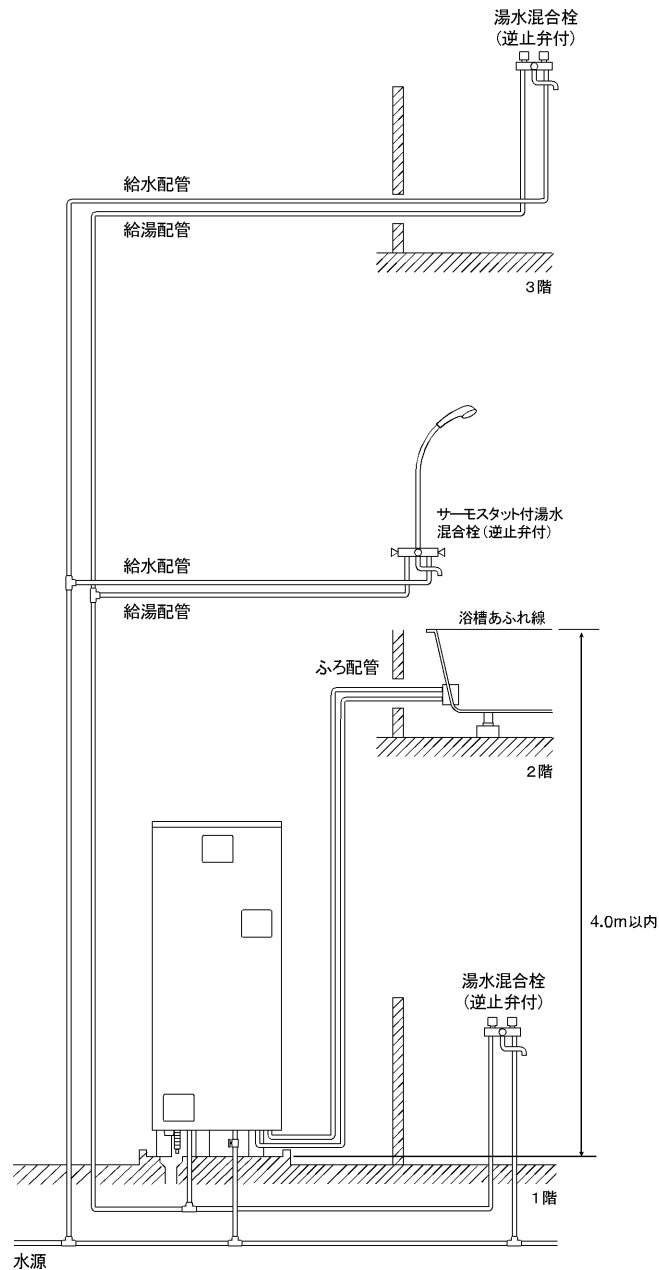
浴槽アダプター (別売部品)



No.	部品名	数量
①	フィルター	1
②	タッピングねじ	3
③	フィルターガイド	1
④	浴槽フランジ	1
⑤	管べし板 (半透明)	1
⑥	パッキン (黒)	1
⑦	かぶせパッキン	1
⑧	浴槽変換具	1
⑨	接続管	1
⑩	一人工用ソケット	1

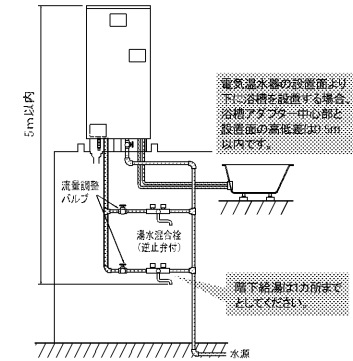
特殊配管工事

※3階では、シャワーは使用できません。
(手洗い程度であれば使用できます。洗髪洗面化粧台は使用できません。)



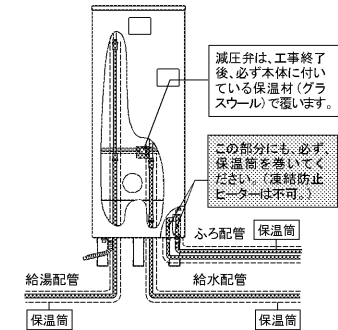
階下給湯

- 給湯配管は階下5mまで可能です。
- 階下給湯は、1カ所だけです。
- 給湯配管の途中に流量調節バルブを取付けてください。
- 給湯栓と温水器の高低差は5m以内にしてください。5mを超えると空気の混じったお湯が出て、飛び散ることがあります。
- 空気の混ざったお湯が出る場合は、温水器への給水量が不足しています。流量調節バルブで、給水と給湯する量がバランスするよう調節してください。



保温工事

- 配管接続部の水漏れの有無を点検してから保温工事をしてください。
- 地中配管や屋外など雨露のかかる保温箇所には適切な防水処理をしてください。
- 給湯、給水、ふろ配管は、必ず保温工事を行ってください。



凍結防止工事

- 保温工事がしてあっても周囲温度が0°C以下になると配管は凍結します。機器や配管が破損する場合がありますので適切な凍結防止対策を施工してください。
- 【お願い】●凍結防止対策の方法とその操作方法をお客さまに十分に説明してください。
 - 温水器本体および配管凍結防止ヒーター等の電源を切って保管する場合は、必ず「4項 据付工事」に記載の方法で温水器と配管の水抜きを行ってください。

注意
凍結防止対策を行う
凍結すると、本体が破損したり、配管が
破裂してやけどをすることがあります。

凍結防止ヒーターによる方法

- ①凍結の恐れがある配管すべてに巻きます。
(本体内部の配管については保温材による凍結防止を行ってください。)
- ②凍結防止ヒーターを巻く場合は凍結防止ヒーター同梱の「説明書」により施工します。
- ③凍結防止ヒーターは何本も使用しますので適当な位置にコンセントを設けます。

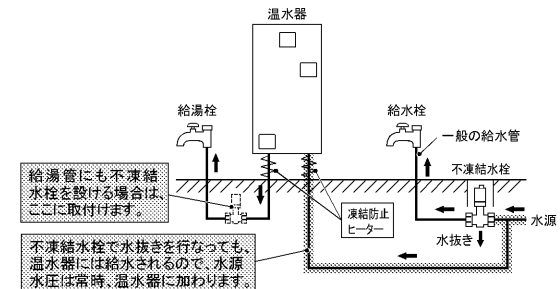
【お願い】不凍結水栓による凍結防止を行う場合

「高圧力型」はヒーターの空焼きを防止するため、製品に水源水圧が加わらないとリモコンに「F07」エラーを表示し、わざと上げを行いません。不凍結水栓による凍結防止を行う場合、必ず、下記の方法で配管工事を行ってください。

一般の給水管だけ水抜きを行い、電気温水器の給水管は水抜きを行わないように不凍結水栓を取付けます。

※電気温水器の給水管には凍結防止ヒーター等による適切な凍結防止対策を行ってください。

※当該水道局の条例により上記の配管(温水器の給水管だけ水抜きをしない方法)ができない場合、不凍結水栓は使用せず、すべて凍結防止ヒーターによる凍結防止を行ってください。



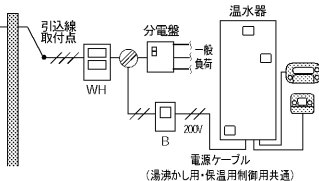
6. 電気工事

- 電気設備基準及び内線規程に基づいて必ず指定工事業者が行なってください。
- ブレーカー（配線用遮断器）および電線（ケーブル）の太さは内線規程（下表参照）に定められたものを使用してください。
- 第2深夜電力（5時間通電）では使用できません。
- 「時間帯別電灯で使用する場合[B]」（下図）の引込み配線を行うときは、保温用制御用電源として配線工事が必要です。
- 深夜電力で使用される場合は、保温用制御用電源として昼間電力の配線工事が必要です。

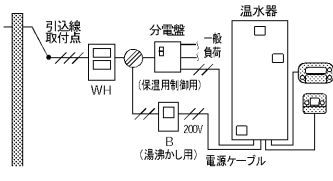
引込配線工事

引込口から温水器までの回路は以下のとおりです。

時間帯別電灯で使用する場合[A]



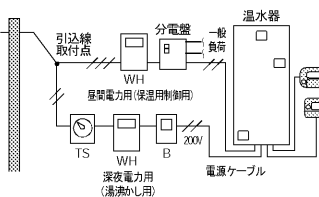
時間帯別電灯で使用する場合[B]



※[A]と[B]どちらの方法で施工するかは、所轄の電力会社の指導にしたがってください。

【お願い】 引込線取付点とジョイントボックス間のケーブルの太さは、一般負荷と温水器を見込んだサイズにしてください。
【お知らせ】 電気温水器用電源ブレーカー相込みの分電盤の場合は、分電盤より直接配線してください。

深夜電力で使用する場合[C]



記号の内容

記号	内容
WH	電力量計
○	ジョイントボックス
TS	タイムスイッチ
B	200V電源ブレーカー
///	単相3線
—/—	単相2線

ブレーカーの定格とケーブルの太さ・種類（時間帯別電灯で使用する場合[A]）

形名	定格電圧	定格消費電力	ブレーカー定格	ケーブルの太さ	種類
SRT-3767WFUD-BL SRT-3767WFU-BL	単相200V	4.7kW	40A	8mm ² (φ3.2mm)	VV
SRT-4667WFUD-BL SRT-4667WFU-BL SRT-4667WFUDM-BL SRT-4667WFUM-BL	単相200V	5.7kW	40A	8mm ² (φ3.2mm)	VV
SRT-5567WFUD-BL SRT-5567WFU-BL	単相200V	6.7kW	50A	14mm ²	VV

ブレーカーの定格とケーブルの太さ・種類（時間帯別電灯で使用する場合[B]、深夜電力で使用する場合[C]）

形名	定格電圧	定格消費電力	ブレーカー定格	ケーブルの太さ	種類	
SRT-3767WFUD-BL SRT-3767WFU-BL	深夜電力 昼間電力	単相200V 単相200V	4.4kW 0.3kW	30A 15A・20A	5.5mm ² (φ2.6mm) φ1.6mm	VV VV
SRT-4667WFUD-BL SRT-4667WFU-BL SRT-4667WFUDM-BL SRT-4667WFUM-BL	深夜電力 昼間電力	単相200V 単相200V	5.4kW 0.3kW	40A 15A・20A	8mm ² (φ3.2mm) φ1.6mm	VV VV
SRT-5567WFUD-BL SRT-5567WFU-BL	深夜電力 昼間電力	単相200V 単相200V	6.4kW 0.3kW	50A 15A・20A	14mm ² φ1.6mm	VV VV

【お知らせ】 深夜電力で使用する場合は、上部わき増し、満タンわき増しはできません。

本体内部配線工事

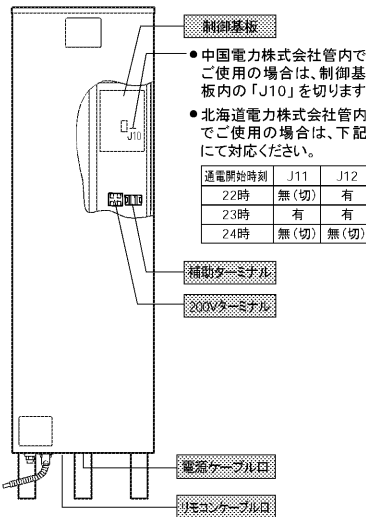
以下の配線工事を行なってください。

- 電源工事・保護アース（接地）工事・リモコン関連工事（6ページ）
- 各配線で使用するケーブルは必要以上にたるませないでください。
- 前面カバーは右図を参照して開けてください。

1. 電源工事

この温水器は時間帯別電灯で使用できるように内部配線されています。

「時間帯別電灯で使用する場合[B]」や「深夜電力で使用する場合[C]」の引込み配線を行うときは、内部配線の変更が必要です。



- 中国電力株式会社管内でご使用の場合は、制御基板内の「J10」を切ります。
- 北海道電力株式会社管内でご使用の場合は、下記にて対応ください。

通電開始時刻	J11	J12
22時	無(切)	有
23時	有	有
24時	無(切)	無(切)

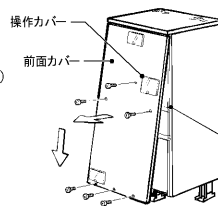
【お願い】 常時通電で使用する場合は、制御基板上の「J01」を切ってください。（常時通電モードとなります。）「J01」を切らないまま常時通電で使用する、2日目を降、わき上げを行いません。（時間帯別電灯または深夜電力で使用する場合は、「J01」を切らずにご使用ください。）

2. 保護アース（接地）工事

- 万一の感電事故防止のため電気設備技術基準および内線規程に基づき、必ず電気工事士によるD種（第3種）接地工事（接地抵抗値100Ω以下）を行なってください。
- 水道管、ガス管への接地、および他器具用アースとの共用はできません。
- 避雷針の接地と2m以上離してください。

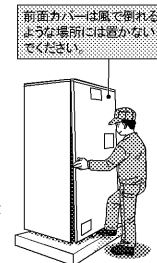
- ①アース棒（純正別売部品）と市販のアース線（IV電線3.5mm² 緑色）を半田付けまたは接続端子で接続します。
- ②アース線を電源ケーブル口から通し、保護アース（⊕マーク）に接続します。
- ③アース棒を湿気のあるところで地中30cm以上の深さに打ち込みます。（集合住宅の場合はアース配線に接続してください。）

前面カバーの外し方



前面カバーのねじ（6本）を外したあと、前面カバーを上げながら手前に引いて降ろします。（前面カバーの取外し、取付けは右図のように行なってください。）

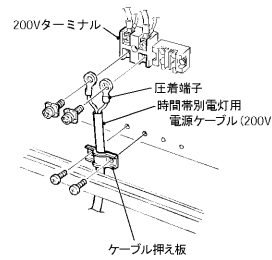
- 【お願い】 ●外した前面カバーは傷が付かないような場所に置いてください。また、操作カバーのつまみが壊れないように注意してください。
- 配線が終わったあと、前面カバーは元どおりねじ（6本）で確実に締めてください。



時間帯別電灯で使用する場合[A]

- ①時間帯別電灯用電源ケーブルを電源ケーブル口から通し、200Vターミナルに接続します。
- ②ケーブル押え板で時間帯別電灯用電源ケーブルを固定します。

- 締付基準トルク: 3.2~3.6N・m (33~37kgf・cm)
- 線間絶縁距離6mm以上



【お願い】 ターミナルへの接続は付属の圧着端子を使用してください。

⚠ 警告

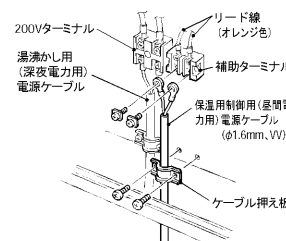
電源ケーブルは確実に取付ける

- 丸端子の圧着は右図に従う
丸端子に適合した圧着工具で正しく圧着してください。
- 端子の締付基準トルクは、3.2~3.6N・mとする
火災・発火の原因になります。

時間帯別電灯で使用する場合[B]

深夜電力で使用する場合[C]

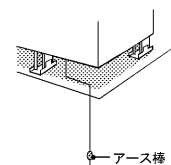
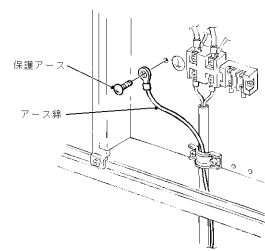
- ①200Vターミナルに接続してあるリード線（オレンジ色）を外し、補助ターミナルに接続します。
- ②保温用制御用（昼間電力用）の電源ケーブルを電源ケーブル口から通し、補助ターミナルに接続します。
- ③湯沸かし用（深夜電力用）電源ケーブルを電源ケーブル口から通し、200Vターミナルに接続します。
- ④ケーブル押え板で電源ケーブルを固定します。



【お願い】 ●200Vターミナルに付属している圧着端子を1サイズ小さいものに変更してください。（370Lタイプの場合）

⚠ 警告

必ずアース工事をする
工事に不備があると、故障や漏電のとき感電することがあります。



リモコン関連工事

- リモコンは、三菱純正別売部品をご使用ください。別売リモコン以外では、わき上げできません。
- リモコンケーブルは、三菱純正別売部品を設置条件に合わせて切断してご使用ください。[リモコンケーブル形名:LM-620またはLM-650(2芯、線径:0.3mm²)]
- 本体1台に複数の浴室リモコン及び複数の台所リモコンは接続できません。

1. 浴室リモコン(別売 RMC-7WBD、RMC-7WB) 取付け工事

■浴室リモコン付属品

木ねじ	オールプラグ	取付パイプ(太)	取付パイプ(細)	カバー	パッキン [※]	操作説明ラベル
						
4個	2個	1個	1個	1個	1個	1枚

※パッキンは、リモコンに付いています。仮取付けできるよう両面テープになっています。

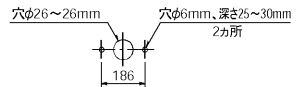
- 【お願い】
- リモコン本体を分解しないでください。
 - リモコンケーブルは、三菱純正別売部品(形名:LM-620またはLM-650)を設置条件に合わせて切断してご使用ください。
 - 操作説明ラベルを浴室リモコンの近傍に貼り付けてください。
 - リモコンを直接砂の上や鉄くずのある床の上におかないでください。スピーカ部(左上)に鉄粉等が付着し、音が出なくなります。

■取付け場所の選定

- 取付位置は浴室内のスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えるところを選んでください。
- 浴室リモコンは防水タイプですが、できるだけ湯や水がかりにくい場所に取付けてください。
- リモコンケーブルの長さが50m以内になる場所としてください。
- カバーは湿気の少ない場所に取付けてください。

コンクリート、タイルなどの壁に取付ける場合(壁貫通)

- 壁厚200mmまで取付け可能です。
- 壁に貫通穴(φ26~30mm)、オールプラグ用穴(φ6mm、深さ約30mm、2カ所)を明け、オールプラグを打ち込みます。



- (1) マイナスドライバーなどで、リモコンカバーをケースからはずす。
- (2) 取付パイプ(太)を壁の厚さに合わせてカットし、リモコンコードを通してリモコンにねじ込む。
- (3) 木ねじでリモコンを壁に固定して、リモコンコードをカバー、取付パイプ(細)に通して、取付パイプ(細)をねじ込み、カバーを木ねじ2本で止める。

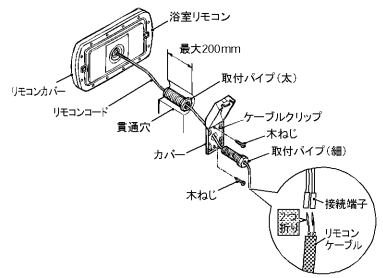
【お願い】●リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。

- (4) リモコンケーブルの芯線を2つ折りにして、リモコンコード接続端子に圧着する。

引張強度 35.6N以上を圧着後に確認してください。

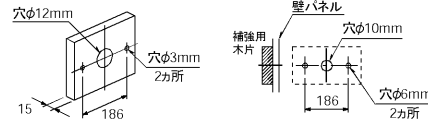
(参考) 接続端子用手動式圧着工具 日本圧着端子製造株式会社製 YNT-2216

- (5) 接続部がカバーの内側になるようにケーブルクリップにリモコンケーブルを巻付けてカバーのふたをはずす。
- (6) お客さまとご相談の上、必要に応じ表示部の保護フィルムをはずす。
- (7) リモコンカバーを取付ける。



ユニットバスに取付ける場合(壁内配線)

- 取付パイプ、カバー、オールプラグは使用しません。
- 室内側からリモコンケーブルを通しておきます。
- 壁にリモコンコード用穴(φ10mm)と、リモコン取付け用穴(φ6mm)をあけます。
- 壁パネルに取付ける場合、裏側に補強用の木片を取付けます。(木片にリモコンコード用穴(φ12mm)とリモコン取付け用穴(φ3mm、2カ所)をあけます。)
- 補強用の木片を接着剤などで壁裏面に付けます。
- 木片は現地を用意してください。

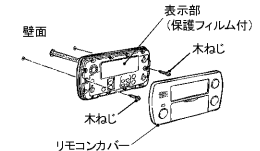


- (1) マイナスドライバーなどで、リモコンカバーをケースからはずす。
- (2) リモコンケーブルの芯線を2つ折りにして、リモコンコード接続端子に圧着し、必ず、木ねじ2本でリモコンを固定する。

引張強度 35.6N以上を圧着後に確認してください。

【お願い】●リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。


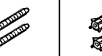
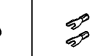

- (3) お客さまとご相談の上、必要に応じ表示部の保護フィルムをはずす。
- (4) リモコンカバーを取付ける。



【お願い】リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。すきまがないこと

2. 台所リモコン(別売 RMC-7WKD、RMC-7WK) 取付け工事

■台所リモコン付属品

木ねじ	M4ねじ	オールプラグ	Y型端子	操作説明ラベル
				
2個	2個	2個	2個	1枚

- 【お願い】
- リモコン本体を分解しないでください。
 - リモコンケーブルは、三菱純正別売部品(形名:LM-620またはLM-650)を設置条件に合わせて切断してご使用ください。
 - 操作説明ラベルを台所リモコンの近傍に貼り付けてください。
 - リモコンを直接砂の上や鉄くずのある床の上におかないでください。スピーカ部(左上)に鉄粉等が付着し、音が出なくなります。

■取付け場所の選定

- 台所リモコンは必ず屋内に取付けてください。
- 【お願い】台所リモコンは防水タイプではありません。下記の場所には取付けしないでください。
 - ガステーブルなど高温(50℃以上)になるところ
 - 浴室など湿気の多いところ
 - 直射日光のあたる場所
 - 湯気や水しぼりや油のかかる場所
 - 幼児の手が届くところ
- リモコンケーブルの長さが50m以内になる場所に取付けてください。
- 台所リモコンはスイッチ操作が容易にでき、表示が良く見えるところ(目の位置より少し下側)に取付けてください。



壁面に取付ける場合(ケーブル露出配線)

- (1) 下ケースの「ケーブル口」をニッパーなどで切欠く。(図1)
- (2) リモコンケーブルを付属のY型端子に圧着して端子に接続し、リモコンケーブルをリード線止めにする。(図1)
- (3) マイナスドライバーでリモコンカバーをケースからはずす。
- (4) リモコンケースを木ねじ2本で壁に固定する。(図2)

(参考) Y型端子用手動式圧着工具 日本圧着端子製造株式会社製 YHT-2210(JIS 9711規格品)

- 壁がコンクリートブロックなどの場合は、オールプラグ用穴(φ6mm、深さ約30mm、2箇所)をあけオールプラグを打ち込んでから木ねじ2本でリモコンケースを固定します。

【お願い】●リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。

- (5) お客さまとご相談の上、必要に応じ表示部の保護フィルムをはずす。
- (6) リモコンカバーをケースにはめる。



(図1) リード線止め

(図2) リモコンケーブル

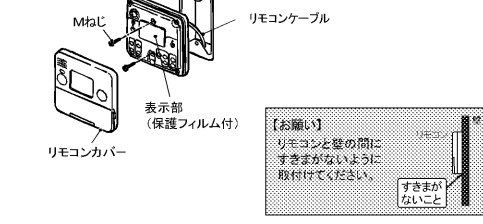
リモコンケーブルを壁中に通す場合(ケーブル埋込配線)

- リモコン取付け位置に埋込用スイッチボックス(1個用)を取付けておきます。
- リモコンケーブルを電線管に通し、温水器まで配線しておきます。

- (1) 埋込用スイッチボックスから出ているリモコンケーブルを付属のY型端子に圧着して、端子に接続する。(図1)
- (2) マイナスドライバーでリモコンカバーをケースからはずす。
- (3) リモコンケースをM4ねじ2本で埋込用スイッチボックスに固定する。(図3)

【お願い】●リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。

- (4) お客さまとご相談の上、必要に応じ表示部の保護フィルムをはずす。
- (5) リモコンカバーをケースにはめる。



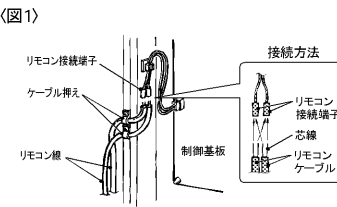
(図3) リモコンケーブル

【お願い】リモコンと壁の間にすきまがないように取付けてください。すきまがないこと

3. リモコンケーブルと温水器の接続工事

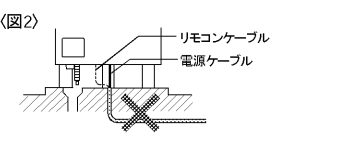
- 台所リモコン、浴室リモコンの端子はどちらも無極性です。

- (1) 前面カバーを外す。
 - (2) リモコンケーブル口から各リモコンケーブルを通し、リモコンケーブルの芯線をリモコンケーブル接続端子に圧着する。(図1)
- 引張強度 35.6N以上を圧着後に確認してください。
- (参考) 接続端子用手動式圧着工具 日本圧着端子製造株式会社製 YNT-2216
- (3) ケーブル押えでリモコンケーブルを固定する。

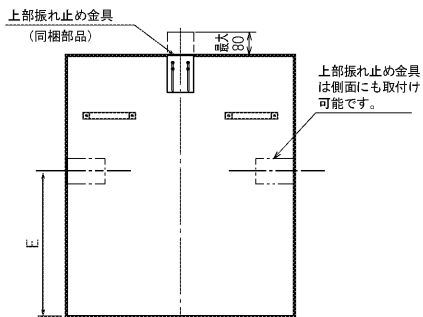


【お願い】●リモコンケーブルどうの中継は誤動作の原因になりますので行わないでください。

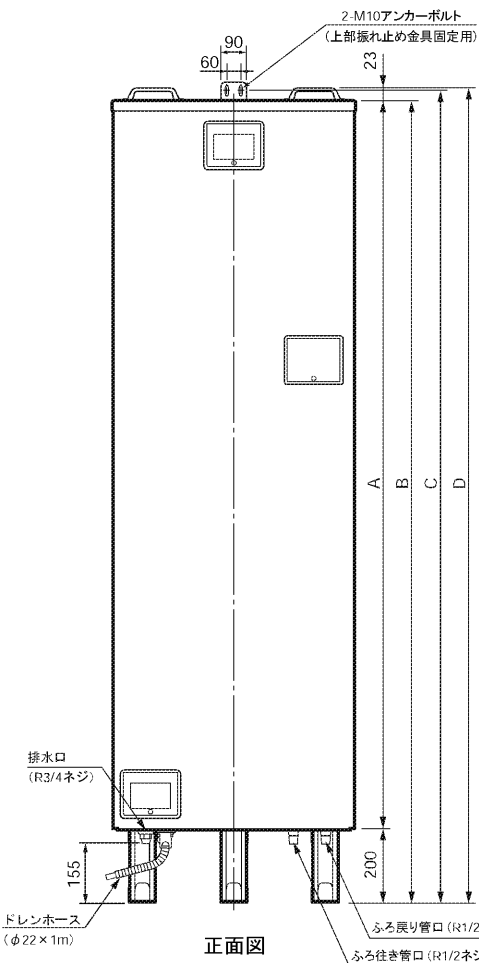
- リモコンケーブルは電源ケーブルと離して(約5cm)配線してください。
- 近いとノイズによる誤動作の原因になります。
- リモコンケーブルは、引張強ても端子に直接張力が加わらないようにケーブル押えで確実に固定してください。
- 電源ケーブルとリモコンケーブルを同一パイプ内で配線しないでください。リモコンが誤動作する場合があります。(図2)
- リモコンケーブルを温水器のリモコン接続ターミナルに接続するときは、200V電源ブレーカーの電源レバーを「切」にしてから接続してください。
- リモコンケーブルは、本体内部の横棧の内側を通してください。



外形寸法図

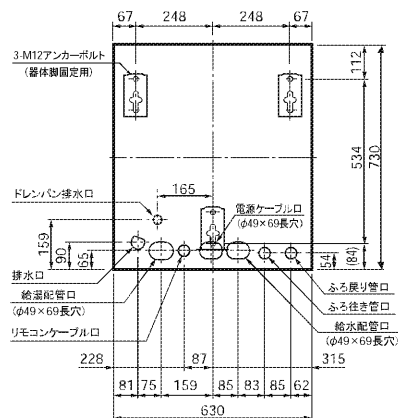


上面図

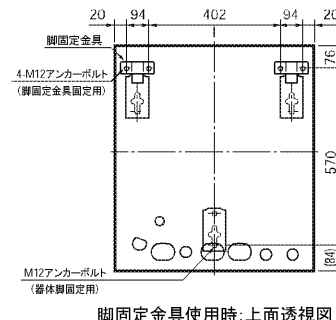


正面図

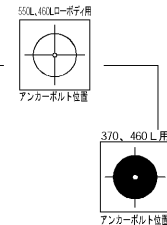
370L、460L用



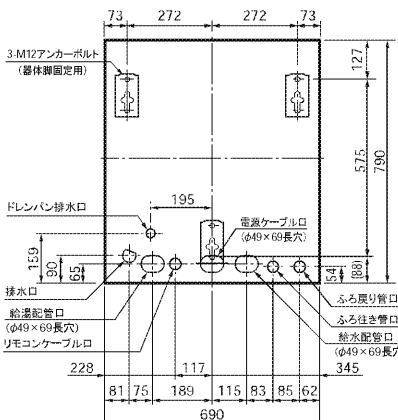
配管、アンカーボルト位置：上面透視図



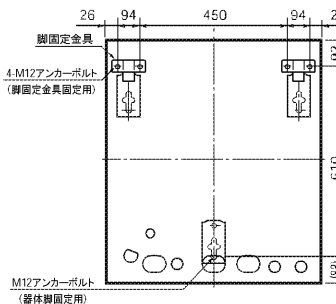
脚固定金具使用時：上面透視図



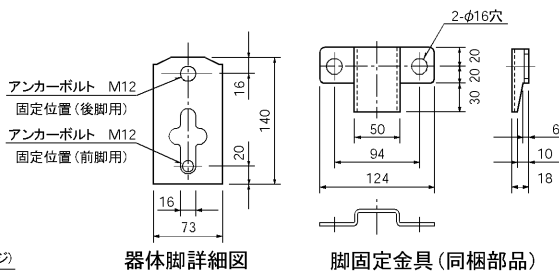
550L、ローボディ用



配管、アンカーボルト位置：上面透視図



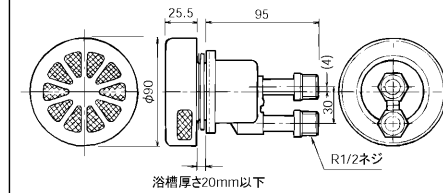
脚固定金具使用時：上面透視図



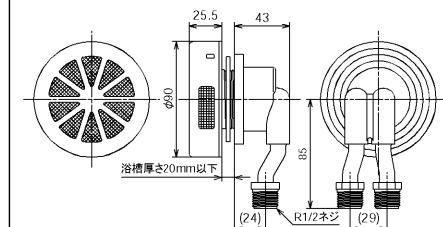
器体脚詳細図

脚固定金具（同梱部品）

浴槽アダプター寸法図

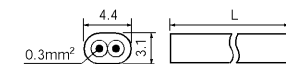


直管おねじタイプ（別売） GT-A76



直角おねじタイプ（別売） GT-A79

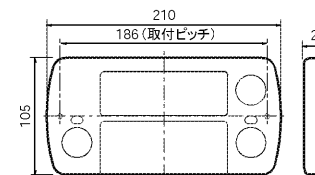
リモコン寸法図



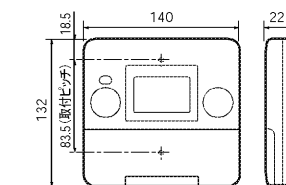
リモコンケーブル（別売）寸法図

形名	LM-620	LM-550
L(m)	20	50

VCT-FK 0.3（相当品）



浴室リモコン（別売）寸法図
RMC-7WBD (RMC-7WB)



台所リモコン（別売）寸法図
RMC-7WKD (RMC-7WK)

形名	SRT-370NFUD-BL SRT-370NFU-BL	SRT-460NFUD-BL SRT-460NFU-BL	SRT-460NFUDM-BL SRT-460NFUM-BL	SRT-550NFUD-BL SRT-550NFU-BL	
	タンク容量 (L)	370	460	460	550
定格消費電力 (kW)	4.7	5.7	5.7	6.7	
質量 (kg)	本体	95	105	110	
	満水時	465	565	565	660
寸法 (mm)	A	1,670	1,970	1,670	1,970
	B	1,870	2,170	1,870	2,170
	C	1,893	2,193	1,893	2,193
	D	1,900	2,200	1,900	2,200
	E	384	384	444	444

7. 試運転 試運転はお客さま立ち合いで行ってください。(湯はりが完了するまで確実に行ってください。)

【お願い】●深夜電力で契約している場合は、電力会社の了解を得て、タイムスイッチを通電状態にしてから試運転を行ってください。
●リモコンの操作は取扱説明書をご覧ください。

1. タンクを満水にする

- ①蛇口(湯水混合栓)が閉じていることを確認する
- ②タンク内の空気を抜くために、逃し弁を開く
- ③温水器専用止水栓を開いてタンクに水を入れる
タンクが満水になると排水口から水が溢す。満水までの目安は約30分です。
(配管や水源水圧によって多少異なります。)
- ④満水になったら、逃し弁を閉じる(温水器専用止水栓は、閉じなくてもいい。)
- ⑤給湯配管の空気を抜くために、蛇口(湯水混合栓)のお湯側を開く(1カ所)
(空気が抜けたら蛇口を閉じてください。)

【お願い】●減圧弁のストレーナーのゴミを点検してください。(右図)

- 水が出ない、出が悪い場合は、温水器専用止水栓が開いているか確認してください。また、各水栓のストレーナーも点検してください。

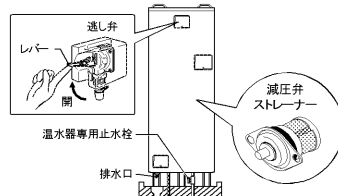
2. 200V電源ブレーカーを「入」にする(または分電盤の電源ブレーカーを「入」にする)

3. 漏電遮断器の電源レバーを「入」にして、動作を確認する

- 手順4の前に、必ず、本体制御基板内のリセットスイッチ(SW4)を5秒以上押してください。
- 常に電源レバーは「入」の状態にしてください。電源レバーが「切」になると消えます。**
- 漏電遮断器のテストボタンを押してください。「入」になっていた電源レバーが「切」になれば正常です。点検が終わったら電源レバーを「入」に戻してください。(ピークシフトを解除します。)
- ヒーターの通電を確認します。(電力計が動作し、台所リモコンに「わか上げ中」が表示されます。)
- 【お知らせ】●時間帯別電灯で使用される場合、初日と2日目は、昼間時間帯にもタンクをわか上げることがあります。

▲注意

- 通電はタンクを満水にしてから行ってください。満水になる前に通電すると、安全装置がはたらき、お湯がわかなくなります。(安全装置がはたらくと、リモコンに「P08」が表示され、本体基板上のLED8が点灯します。)
- タンクが満水になるまで湯水混合栓は開けないでください。流量センサーの故障の原因となります。

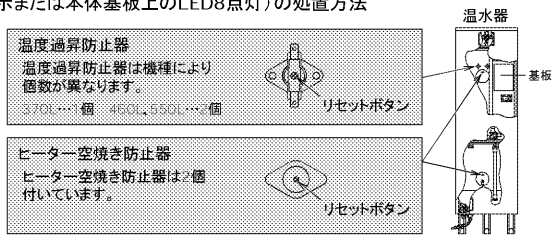


▲警告

漏電遮断器の動作を確認する
(感電の原因)

安全装置がはたらいた場合(リモコンにP08表示または本体基板上のLED8点灯)の処置方法

- ①感電防止のため、本体の漏電遮断器の電源レバーを2つとも「切」にする
- ②必ずタンクを満水にしてから、すべての温度過昇防止器、ヒーター空焼き防止器をリセット(中央のリセットボタンを押す)
- ③本体の漏電遮断器の電源レバーを2つとも「入」にし、上記表示が消えていることを確認し、手順3から再度試運転を行う



4. 台所リモコンで時刻設定を行う
5. 台所リモコンで温水器の温度設定を行う

【お願い】●タンク内を正常にわか上げているかどうか、リモコンの温度表示スイッチを押して確認してください。わか上げが正常なときは、1時間に約10℃、温度が上昇します。
●空焼きによって、ヒーター空焼き防止器・温度過昇防止器が動作した場合、正常に復帰されていない状態でヒーターに通電されていくとリモコンに「わか上げ中」が表示されます。正常にわか上げているかどうかは、リモコンの温度表示スイッチを押して温度の上昇を確認してください。

6. 湯はり動作を確認する(タンク内が水の場合でも、下記操作により確認できます。)

【お願い】●浴槽を空にしてから、湯はりの動作を確認してください。

①浴槽の容量を確認する

- 湯はり湯量は180Lで初期設定されています。一般的な浴槽では、設定変更しないで試運転湯はりを行います。
- 【お知らせ】●大きい浴槽で少ない設定湯量で試運転湯ほりを行うと、「U03」エラーを表示して湯はりが行われないことがあります。この場合は設定湯量を多くしてください。

②湯はりする

- 浴槽を空にして、浴槽の排水栓を閉じてから、「ふろ自動」スイッチを押します。タンク内が水の場合でも水で湯はりを開始し、設定した湯量を湯はりするとふろ自動ランプが点灯します。
- タンク内が湯の場合は、浴室リモコンのふろ温度設定「▼(低)」スイッチを押しながら「ふろ自動」スイッチを押すことで、タンク内の湯を使用せず水で湯はりができます。

【お願い】●水栓から浴槽への湯はりはいないでください。

【お知らせ】●湯はり時間の目安は右表を参照してください。

- 途中で湯はりを止めたりすると、水位を誤検出し、翌日以降、湯はりが正常に行われない場合があります。必ず湯はりを完了させてください。

③湯はり完了後、浴槽の湯量(水位)を確認し、お客さまご希望の湯はり湯量に設定する

- お客さまご相談の上、ご希望の湯量(水位)になるようにふろ湯量設定「H(高)ー(低)」スイッチでふろ湯量を設定してください。(湯量20Lで浴槽水位は約3〜5cm上下します。)

【お願い】●湯はりが異常の場合、浴槽を空にして本体制御基板のリセットスイッチ(SW4)を押し、湯はりをやり直してください。

7. 湯はり終了後、配管及び各配管の接続部から水漏れが無い確認する

8. 上記以外のリモコン機能が取扱説明書の通りに操作できるかどうか確認する

- お客さまご相談の上、ご希望の湯はり温度になるようにふろ温度設定「△(高)▼(低)」スイッチでふろ温度を設定してください。
- お客さまご相談の上、ご希望の給湯湯度になるように給湯湯度設定「△(高)▼(低)」スイッチで給湯湯度を設定してください。

9. 試運転終了後、必ず浴槽の水を排水する

【お願い】●深夜電力で契約している場合は、試運転終了後、タイムスイッチの時刻を現在時刻に戻してください。
●試運転終了後、すぐに温水器をご使用にならない場合は、凍結による故障を防ぐためタンク内および配管内の水を抜いてください。

8. チェックリスト

据付工事後は、必ずお客さま立ち合いのもとで下表にあげたチェック項目を確認してください。不具合があった場合は、必ず直してください。(機能が発揮できないばかりか安全性が確保できません。)

(○印の付いているチェック項目は、同封の工事確認書で確認してください。)

	チェック項目	ページ	工事確認書 確認項目	判定
据付け状態	①脚が固定(アンカーボルト及び脚固定金具)されていますか。(3カ所)	2	○	
	②満水時の重量(外形寸法図参照)に十分耐えますか。	2	○	
	③メンテナンススペースが確保されていますか。(本体は出し入れできますか。修理・点検はしやすいですか。)	2	○	
	④火気・引火物は近くにありませんか。	2		
	⑤排水・防水処理はしてありますか。また、排水管は浄化槽へ導かれていませんか。	2	○	
	⑥上部を固定しましたか。(2階以上に据付けた場合)	2	○	
	⑦ケースに傷、変形はないですか。	1		
配管工事	①温水器専用止水栓は適切な位置についていますか。	3	○	
	②排水ホッパーはついていませんか。	3	○	
	③排水口は排水ホッパーの中心に合っていますか。	3	○	
	④排水口と排水ホッパーの間隔は50mm以上あいていますか。	3	○	
	⑤給湯配管は耐食性、耐熱性に問題ない材質ですか。	3	○	
	⑥給湯配管に絶縁を考慮した配管材(L=1000mm以上)が入っていますか。	3	○	
	⑦給水配管に絶縁を考慮した配管材(L=500mm以上)が入っていますか。	3	○	
	⑧ふろ配管に絶縁を考慮した配管材(L=500mm以上)が入っていますか。	3	○	
	⑨ふろ配管途中に鳥居配管(1箇所)がある場合、高さは3.0m以内になっていますか。(湯はり誤動作の原因となります。)	3	○	
	⑩浴槽アダプターは当社純正部品を使用していますか。	3	○	
	⑪排水管材は90℃の温度に十分耐える材料になっていますか。	3	○	
	⑫絶縁パイプと金属管との接続部はインサートねじのものになっていますか。	3		
	⑬ドレンホースを排水ホッパーに導いてありますか。	3	○	
	⑭保温工事は適切ですか。	4	○	
	⑮凍結防止工事は適切ですか。(凍結防止ヒーターの使用など)	4	○	
	⑯各水栓、減圧弁のストレーナーは点検しましたか。(ゴミが入っていると湯の出が悪くなります。)	3	○	
⑰水抜き栓(4カ所)が閉じていることを確認しましたか。	3			
電気工事	①電線(ケーブル)の太さは適切ですか。	5	○	
	②タイムスイッチ(深夜電力契約時)、ブレーカーはついていませんか。	5	○	
	③タイムスイッチ(深夜電力契約時)、ブレーカーの定格は十分ですか。	5	○	
	④湯沸かし用電源は200Vですか。	5	○	
	⑤電源ケーブルと温水器の接続は、契約した制度(深夜電力、時間帯別電灯)に合わせて適切にされていますか。	5	○	
	⑥200Vターミナルの締付けは十分ですか。	5	○	
	⑦保護アース(接地)工事は確実ですか。	5	○	
	⑧ケーブル押え板は使っていますか。	5	○	
	⑨リモコンを温水器に接続しましたか。	6	○	
その他	①湯水混合栓からの流量は十分ですか。	3		
	②温水器周辺や配管からの水漏れはないですか。(ふろ配管からの水漏れはありませんか。)	—	○	
	③逃し弁のレバーを立てて排水栓を開いたとき、排水があふれ出ることはないですか。	3	○	
	④試運転は異常なく完了しましたか。	8	○	
	⑤試運転確認完了後、すぐに入居しない場合など、本体の漏電遮断器を切ったとき、凍結防止のため、タンクと配管内の水をすべて抜きましたか。	2		注意事項
	⑥本体の操作窓(3カ所)は確実に閉めましたか。	—		
	⑦通電制御型の電気料金割引引きについて、お客さまに説明をしましたか。	8	○	

9. お客さまへの説明

- 取扱説明書に基づいて、正しい使い方をお客さまにご説明ください。特に「安全のために必ずお守りください」の項は、安全に関する重大な注意事項を記載していますので必ず守るようご説明ください。
- この温水器は、申請によって通電制御型として電気料金の割引が適用されます。適用を受けるため、最寄りの電力会社に申請していただくようお願いいたします。 (買替え時などで機種変更した場合でも、電力会社へ申請が必要です。)
- お客さまへの説明には、同梱の説明書をご活用ください。
- 日常の点検、お手入れ方法などは、現品で具体的に説明してください。
- 寒冷地での凍結防止対策とその操作方法は具体的に説明してください。
- 長期間お使いいただくためには、定期点検が必要なお客さまにご説明のうえ、点検の相談や使用上の質問などに適切に対応してください。また、消耗部品(減圧弁、逃し弁、ヒーターパッキンなど)は定期的な交換が必要であることを説明してください。
- 保証書、工事確認書に所定事項をご記入のうえ、取扱説明書などとともにお客さまにお渡しください。

【高圧力型】 家庭用以外でご使用のお客さまには、同梱の「事業者さまへのご案内」を添っていただくようお願いしてください。